

# 教養特論: ライティングスキル

2017 日本語セクション

2017 年 6 月 19 日

## 1 2017.06.12

- 1 今日の授業でやったこと。
- 2 今日の授業でわかったこと。
- 3 今日の授業への質問・疑問。
- 4 簡単な実験を考えよ。

### 1.1 五十嵐 光希

- 1 論文についての基礎事項
- 2 論文の大まかな内容
- 3 特になし
- 4 コインの表と裏の出る確率は等しいのか？

### 1.2 石川 優太

- 1 論文などの書き方について
- 2 まずどのように論文のテーマを決め、またどのように論文を書き始めるか
- 3 最後の RI を RQ にするという点について、例えば自分の好き嫌いを調べることにに関して他の人の意見にあった調査対象を自分から一般の人に広げるとするのは、そもそも自分の好みを調べるという前提が崩れていて全くの別物になってると思いますがいいたいでしょうか？それならそもそも RI が自分の好みを知りたいということでもいいと思うのですが？
- 4 東工大生のメガネ率を朝の時間に直接数えることによって調べる。

### 1.3 石塚 友樹

- 1 論文の書き方や論文のスタイルについて
- 2 はじめにを書いた次にすぐおわりにを書くことや、RI,RQ の違いについて知ることができた。
- 3 授業内で英語をよく使うのは国際性を意識しているからなのでしょう。
- 4 授業中等の人が集まっている場所でふいに虚空を見つめたら何割の人がつられるかの検証

## 1.4 市橋 啓太

- 1 ガイダンス、学術論文について討論、論文の型を学ぶ、RQ のたてかた
- 2 RQ と RI の違い、論文の型、論文の項目の書く順序
- 3 特にありません
- 4 朝 8:30 8:40 の時間に絞って東工大に登校する人の人数をしらべ、曜日ごとの違いを考える。

## 1.5 大迫 勇太

- 1 良い論文の書き方
- 2 はじまりにとおわりのがしっかりと結ばれるように書く。RI ではなく RQ を題材にする。
- 3 特に無し
- 4 人生でセパタクローをやったことがある人は 100 人中 3 人以下である

## 1.6 大庭 優希

- 1 授業説明、これからの流れ、グループでの討論と発表、論文の書き方 (書く順番と注意点)、宿題について
- 2 今まで考察の最後にまとめとして、これからどのようにしていくかをよく書いていたが、それが誤りであることがわかりました。また RQ をどのように書くかが、いい論文になるかどうかの最初の分かれ目になることがわかりました。
- 3 abstract も大切な項目の一つに入っていたが、それはどのタイミングで、どのように書けばよいかかわからなかったです。
- 4 サイコロにおいて目の出方はすべて同じ確率であるだろうか、という事について実際にサイコロをふって確かめてみる実験

## 1.7 Ohata Hyui

- 1 論文の書き方について。
- 2 論文を書くという経験を積まなければ、論文を書けるようにはならないということ。
- 3 特にありません。
- 4 たけのこの里ときのこの山、どちらの方が人気なのか。

## 1.8 小田 真琴

- 1 書くことを上達させるために必要なこと、グループでの討論
- 2 論文というものはあまり自分の思うように書く部分は少ないものだということ。
- 3 クオリティを上げていくのに積み重ねがちょっとずつ過ぎると足りないということもあるのではないだろうか。
- 4 サイコロのある目の出る確率は本当に  $1/6$  なのか検証する。

## 1.9 川越 貴啓

- 1 この授業の導入、論文・専門用語についての討論・発表、今後の実験・論文についての説明など。
- 2 論文の書き方にはパターンがあり、そのパターンのテンプレートにそって書いていけば良い。個人的な疑問を論文のテーマに昇華させる方法など。
- 3 特になし。
- 4 人間(自分)は1分以上まばたきをせずに目を開けたままに出来るか。

## 1.10 久米 遼大

- 1 論文を書く時の姿勢。
- 2 RQとRIは違う。論文のテーマは前者にしなくてはならない。
- 3 特になし
- 4 大岡山 TSUTAYA で借りられている DVD のジャンルを調べる

## 1.11 齊藤 穂

- 1 論文を書く順番、Research Question についてなど
- 2 Research Interest を Research Question にする方法など
- 3 どうしても専門用語が見つからない場合は、自分で定義するしかないのか
- 4 ロイヤルストレートフラッシュが始めて出るまでの試行回数を数える

## 1.12 櫻井 凜太郎

- 1 講義の説明、調べるグループワーク、論文の形式についての説明、論文で大事なこと
- 2 論文には形式が存在して、自分で考えることはRQ、実験方法、考察の三つであるということ。最初に書くべきものは『はじめに』と『終わりに』であるということ。
- 3 特にありません。
- 4 複数人で手を繋いで輪を作り、手を握って信号を伝達して一周する時間を測る。初めの人と終わりの人がストップウォッチを持って測定する。

## 1.13 眞田 雄太郎

- 1 上手になるための十の約束、討論 1,2,3,4,5
- 2 やはり参考書で勉強するのではなく、授業受けてライティングスキルを上げるのがよいと思った
- 3 大学受験での小論文の授業と類似していると思っていたが、アカデミックなライティングで実用性があると思った
- 4 好きな食べ物も嫌いな食べ物の相関性

## 1.14 佐野 文哉

- 1 論文の構成や書くべきこと書かない方がよいことなどの、論文執筆の際の諸注意を、講義とグループワークを通して学んだ。
- 2 論文にはスタイルやテンプレートがある。RIではなくRQを論文には書く。RQと結論との繋がりが最重要。
- 3 参考文献に載せるものについて、論文に引用した引用元だけでいいのか。読んで参考にしただけの本は書かなくていいのか。
- 4 外出時間に対する歩行移動時間の割合と外出中の携帯端末使用時間の割合との間には負の相関関係がある。(歩行時間は歩数、端末使用時間はスマートフォンのバッテリーの減少量から概算する。)

## 1.15 周 海林

- 1 1、書くことが上手になるためのやるべきことや心構え。2、学生が論文を書けない現状について討論。3、具体的な論文の形式、書き方や注意点。
- 2 1、よい気持ちをもって書くこと。2、常に書いたものを推敲すること。3、論文の大まかな形式
- 3 特にありません。
- 4 駅前でコーラの安売り場を設置し、売上を温度、湿度などの数値と比べて、その間に何らかの関係を求める。

## 1.16 高松 亮太

- 1 授業内容の説明、論文の書き方の本の活用の仕方について
- 2 自分が論文を書けないのは、技術が無いこともあるが、書き方を知らないということが一番大きいということ
- 3 特にありません
- 4 何秒間瞬きをせずに目を開けていられるか 湿度によって変化はあるのか

## 1.17 玉置 千智

- 1 論文執筆に対する基本姿勢
- 2 まずRQをYes-Noで答えられるように書く 結論を2通り書いてしまう という順番を知った。
- 3 特になし
- 4 RQ: 70%以上のライティングスキルを履修している学生の筆箱の中には7本以上の、「ペン」に分類されるものが入っている。

## 1.18 栃本 拓海

- 1 ライティングへの心構えの説明・論文に関する本がどれだけあるか、なぜそれほどあるかといったことを議論するグループワーク・論文の構成とそれぞれの項目の内容の説明
- 2 ライティングは1つの技術であり計画的に楽しくやることがいい文章を書くためのコツ。論文を書くときははじめとおわりが最も大事で、最初に書くようにすること。

- 3 論文の執筆で最初に結論を YES・NO の場合を書いておくがあったが、結論が無数に想定されて場合分けできない場合はどうすればいいのか疑問に思った。
- 4 本屋にある本の値段・文字数・ジャンル・デザイン・出版社等の情熱を見て、文字数に対する値段が高くなるための条件を考察する。

### 1.19 中田 海央

- 1 先生からの授業説明、論文の書き方に関する討論
- 2 論文には型があり、一からオリジナルで作上げるものではない、
- 3 実験のテーマなどの良い見つけ方があれば教えて頂きたいです。
- 4 ティッシュ 1 枚をどれだけ長く引き延ばせるかを検討する

### 1.20 成田 泰之

- 1 授業概要 討論
- 2 論文は書評や読書感想文とは違う 論文の大まかな書き方
- 3 先生は今までどれくらいの数の論文を書いたんですか
- 4 じゃんけんが勝つ確率は本当に  $1/3$  なのか を調べるため 2 人で繰り返しじゃんけんを行なって勝った確率を出す

### 1.21 野平 博希

- 1 論文の書き方の参考書について、その数や、使い方について話し合った。また、簡単に論文の書き順を学んだ。
- 2 論文にはほぼ決まった型があり、自分で考えて書くところは考察だけで、他は事実だけを述べることや、RI ではなく RQ にすることが大事であること。また、論文は実験と並行して書くというのは驚きだった。
- 3 特にはありません。
- 4 コイントスの表裏の出る確率を何百回もコインを投げて調べる。

### 1.22 平井 丈

- 1 論文にもいろんなルールがあることを学んだ。
- 2 論文に対する興味がまだ薄いなとわかった
- 3 特にはありません。
- 4 サザエさんのじゃんけんに  $1/3$  以上の確率で勝てるか

### 1.23 平野 誠也

- 1 論文の書き方の大枠。
- 2 自分の言葉は使わずに専門用語に置き換えること。
- 3 特にはありません。

- 4 初めての人との会話のタネは漫画で間違いない。

## 1.24 道旗 琳平

- 1 論文の書き方
- 2 問いを立てる方法
- 3 特になし
- 4 シャー芯はどれくらいの長さ伸ばすと折れるか

## 1.25 宮城 俊

- 1 論文についての討論。また、論文の書き方、特に各要素の書く順番。
- 2 論文を書くときは、はじめに (introduction) とおわりに (conclusion) を先に書いた方がいいということ。
- 3 論文を書くことと、実験をするのを同時にすると、論文が一貫としたものに、ならないのではないかということ。
- 4 何によって人は他の人をハゲているとみなすのか調べる。方法としては、様々な要素 (髪型、髪量、頭皮に対する髪の面積など) と、他の人にハゲと言われる確率の相関関係を調べる方法がある。

## 1.26 宮 裕暉

- 1 討論 (論文の書き方の本はどのくらいあるか。なぜ論文の本がたくさんあるのか、たくさんあるのになぜ書けない学生が多いのか。論文の書き方の本をどのように活用すればよいか。論文の読者の読む順番の理由。)。論文の大まかな書き方、書く順番。
- 2 論文は「はじめに」と「おわりに」から書き、この二カ所での議論をねじれさせない。「はじめに」には、Reserch Interest ではなく Reserch question を書く。今後の課題は「おわりに」ではなく、「考察」に書く。方法は自分の手を動かして探し、うまくいかなかった方法も論文に書く。結果には事実のみを書く。
- 3 「できなかった方法も書く」とあったが、できなかった方法が何個もあっても書くべきなのか。
- 4 人間が目を頑張って開けようとし続けると、目を閉じた回数と目を閉じてから再び閉じるまでの時間との間に反比例の関係が成り立つかどうか調べる。

## 1.27 林 可欣

- 1 論文を書く上で大切なこと
- 2 はじめにとおわりにを始めに書く。
- 3 特にありません
- 4 コントクトの人はそうでない人より瞬きの回数が多いのか

### 1.28 荒木 愛美

- 1 なぜ論文の書き方の本が大量に存在するのか。どのようにその本を活用していくべきか。問いをどのように立てるか。
- 2 論文にはきちんと形式があり、自由に考えられる箇所は限られている。論文においては、自分の考えを自分の言葉で語るのでは通じず、国内外限らず通じる共通の専門用語を使う。
- 3 問題意識とリサーチクエスチョンの違いは何か。
- 4 東工大の HP には大岡山駅からキャンパスまで徒歩 1 分とあるが、いかなる場合でも誰が歩いても徒歩 1 分で辿り着けるか。

### 1.29 宮田 和美

- 1 ライティングスキルの基礎を学んだ。授業の概要を確認した。
- 2 ライティングが楽しくなるコツと、上手になるための条件。
- 3 次回から参加します。
- 4 研究アドバイスをする際の適切な距離の検証

### 1.30 谷 桃太郎

- 1 論文を書くのが上手になるための 10 の約束, 4 人グループで論文の書き方・文献調査の仕方についての討論, 論文の書き方の最適な順序, RI を RQ へと昇華するには, 結論は Yes か No で!
- 2 Web で文献調査を完結させてしまうと、文献調査の信頼性や充足性が損なわれ、まともな論文はかけない。
- 3 測定するデータの母数には制限があるか? (最低~人, ~セット, ~個取れ! みたいな条件)
- 4 ゲーミフィケーション適用対象におけるジャンルごとの要素組み合わせの差の検討

### 1.31 田中 まさお

- 1 今日の授業でやったこと。
- 2 今日の授業でわかったこと。
- 3 今日の授業への質問・疑問。
- 4 簡単な実験を考えよ。

### 1.32 山元 啓史

- 1 今日の授業でやったこと。
- 2 今日の授業でわかったこと。
- 3 今日の授業への質問・疑問。
- 4 簡単な実験を考えよ。